

分類	ねらい	留意点等	単元の段階			対象学年		
			導入	中間	まとめ	低	中	高
① 難しいと感じたことや尋ねてみたいことについてのShare	日頃から尋ね合い、教え合える集団づくり授業への理解を促す	児童が答えられる内容なら教師の代わりにさせ、主体性や協働性を高めるきっかけとさせてもよい。	○	○		○	○	○
	英語だけでなく、世界の様々な言葉を知り、世界の言語への興味・関心を広げる	ズボンのように、英語だと思っていたけれど、英語ではなかった言葉を出させ、世界にはいろいろな言葉があることに気付かせる。	○			○		
② 日本語と外国語の共通点や相違点(比較)についてのShare	音の違いへの気付きを促す 正しい音のInputを図る	ALTとHRTの発音のちがいに気付き、カタカナ英語との相違に気付かせる。 正しい発音を知る。	○			○		
	英語の言葉の中で、似ている音への気付き、英語独特のリズムへの関心につなげる	rhyming、初頭音など音への注意を向けさせる。 英語の歌のリズムに親しむ。	○	○		○		
	日本語と似ている英語への気付きを促す	カタカナ英語との共通点を共有する。 言葉への興味を広げる。	○			○	○	
	日本との文化の相違点や共通点に気付かせる 異文化理解につなげる	世界の国々の文化と日本の文化を比較させたり、異国の文化を尊重したりする態度を育てる。	○			○	○	○
③ 日常生活との関連・気付きに関するShare	日常生活で聞いたことがある言葉集め	言葉を身近に感じさせる機会にする。 新しい言葉への理解、興味・関心を深める。	○	○		○		
	日本語で使っている場面を考えさせる	児童の英語に触れている経験を引き出す。	○	○		○	○	○
④ 主体性につなげるShare	もっと言ってみようと言葉を出させ、自己表現への意欲を育てる	新しい言葉の理解につなげる。		○	○	○		
	他に何というのか知りたい言葉を出させ、言葉への興味・関心を高める	伝えたい、話したいという意欲につなげる。			○	○		
⑤ Activityに関わるShare	本時の学習で分かったことや気付いたことの確かめをする	本時の学習内容を確かめる。	○	○		○		
	ゲーム等を通して、単元や本時のねらいにつなげるための確認	ゲームのルールを明らかにし、よりよい集団づくりにつなげる。 よりたくさん正しく言葉に触れさせる。		○	○	○		
	後半のActivityで本時のねらいに近づけるために意識させたいこと	本時のねらいを意識し、近づけるようにする。 全員が意識すべきことを明確にする。		○			○	
⑥ 既習事項に関するShare	今までの学習とのつながりを意識した交流	この場面で他に使える表現があるか考えさせる。		○	○		○	
	学習した表現を使ってみようという場面、使えそうな場面を明確にする	学習してきた表現が、どんな場面に生かすことができるか考えさせる。		○			○	
	より自然な会話にするための表現の共有	会話を続ける際に必要な要素を考えさせる。 Non-verbalな部分にも触れる。		○	○			○
⑦ よりよいOutputにつなげるための努力事項のShare	後半の活動に頑張りたいこと、意識したいことを共有し、意欲を高める。	後半のActivityにつなげる。		○	○			○
	どのような内容(表現)を扱うか共有し、集団全体を高める	共有することで安心感を持たせる。 以後の見直しを持たせる。		○				○
	自分が意識したことや気を付けたことを共有し、より高い意欲を育てる	さらにより発表にする。 以後の活動に前向きに向かわせる。		○	○			○
	友達のよいところを自分へ生かし、友達を意識させる	学習内容、ゴールを確かめる。 みんなから学んだり、学び合ったりする雰囲気をつくる。		○	○		○	○
	Outputをする時に気を付けること	日常の会話に近づける。 場面を具体的に想像させる。		○			○	○